

船堀幼稚園 学校応援団 実践報告書

1 園長及び代表氏名

船堀幼稚園長 小澤 明子

コーディネーター 秋葉 良成

2 ボランティア数 一般ボランティア 20名

3 今年度の活動状況

ドングリの会	泥団子の会	P T A	個人ボランティア
江戸川総合人生大学 修了者でつくるサークルの 方々 8名	船堀幼稚園を修了 されたP T A O Bのサ ークル 2名	現P T A会員のみな さん	地域の方・町会の方 本園元職員 本園修了生 5名
<ul style="list-style-type: none"> ・ヤゴや自然物の提供 ・自然観察のサポーター ・草木染め ・もちつき ・クマムシ研究所 	<ul style="list-style-type: none"> ・もちつき 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコキャップ アルミ缶 ベルマ ークの回収 ・遠足のサポーター ・洋裁協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・もちつき ・自然環境管理 ・未就園児の会サポ ーター



すてきな藍染めができました



かまどで蒸かしたもち米で餅つき

4 今年度の成果と今後の課題

今年度は学校応援団の皆様にご活躍してもらった場面が少なかったのですが、応援団がいてくださるといことが、とても心強かったです。

数少ない活動ではありましたが、子どもたちは経験が広がったり、楽しさを味わったりできました。感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度は応援団の中には、感染予防のために参加を控えるメンバーもいました。早く通常の園生活が戻ることを願っています。

5 コーディネーターより

今年度も応援団の皆様にご協力いただけて、ありがとうございました。

子どもたちに色々な経験をさせたいと願っていますが、活動自体が制限されたことは仕方のないこととは言え、残念でした。今後も機会あるごとに精一杯協力をしたいと思います。引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

6 園長より

今年は応援団の皆様とのかかわりが少なかったのですが、「子どもたちは元気ですか」と気にかけてくださったり、「何かあったらいつでも行きますよ」とお声をかけてくださったりして、応援団としての役割を果たしていただきました。

本園の環境や教材を存分に生かした遊びや活動ができるのも、応援団のご協力があったことです。1年間ありがとうございました。今後も活動の進め方を工夫しながら、応援団の皆様と一緒に子どもたちの成長を支えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。